

登録番号 事業所名	取組の感想
第18-0001 綾瀬市商工会	<p>事務所内のO A関連用品の使用量削減への取組やリサイクル品の使用により少しずつですが、環境負荷の削減に努力しています。</p> <p>会員に対し、アルミ缶とプルタブ収集協力を依頼しています。また、広報により企業のみならず市民の皆様もアルミ缶とプルタブを商工会館に持ち寄っていただけるようになりました。</p> <p>会館内に設置した自動販売機は、緑の募金に対応しており、当会並びに自動販売機設置業者が寄付しています。</p> <p>しかしながら、事務所で使っているプリンターメーカーは、リサイクルでなく純正トナーの使用を推奨しており、保証期間内でも純正品を使用していない場合は保証対象外との見解で、リサイクル品を使いにくいのが現状です。</p>
第19-0003号 ㈱ワイ・ケー電子	<p>ワイ・ケー電子の恒例行事として9年目を迎えたビーチクリーン活動を全従業員並びにお客様にも参加していただき自然環境との調和に配慮し、景観の保全に取り組むことができました。今後も継続、推進してまいります。</p> <p>外部から製品の環境負荷に関するデータ提供の依頼には、製品アセスメントに対して重要事項と認識して全てのステークホルダーとの信頼関係を築くように対応させていただきました。今後も継続、推進してまいります。</p>
第19-0005号 ㈱横浜製作所	<p>平成28年度の電気使用量の削減について、工場の照明を調整するなどして年間を通じ削減することができました。廃棄物の排出費は、目標値を若干ですがオーバーしました。</p> <p>平成28年度の「本来業務の作業改善の取組」ですが、具体的な活動となるとなかなか難しく、削減目標には到達しませんでした。今年度も引き続き「本来業務の作業改善の取組」を主な活動として環境負荷の低減に努めていきます。</p>
第19-0007号 ㈱加藤工務店	<p>昨年度に引き続き、建築現場より出るごみの分別の徹底、低減化に力をいれました。新築現場においては、複層ガラス建具、断熱材、ハイブリット給湯器、無垢材の使用等々、様々なエコ商品を使用することにより、地球温暖化防止にもつながる取組をしてきました。</p> <p>今後も継続して取り組んでいくつもりです。</p>
第19-0008号 ㈱ラテン大和	<p>「再生」という点は、社内でも浸透しています。</p> <p>時間帯による消灯活動については、営業部門が常に稼動していて一斉消灯が難しいのが現状（最低限の照明を心掛けている）です。</p> <p>不完全な部分に関しては、部署ごとの改善策を再検討中です。</p>
第20-0001号 相鉄バス(株) 綾瀬営業所	<p>平成28年度は、前年度まで実施しておりました施設面における照明関係のLED化は全て完了していることから、更なる省エネを推進し環境負荷を低減させるために、全営業所員が一丸となり事務用品及び電気・水道・ガスの節約に取り組んでまいりました。</p> <p>また、車両の代替につきましては、低公害・高燃費アイドリングストップ車、更には、排ガスのクリーン化に役立つ尿素バスの導入を推進するため、計14両の新型車両を導入いたしました。なお平成29年度の車両の代替計画は今のところ未定です。</p>

<p>第20-0002号 株メイコー</p>	<p>平成28年度に引き続き環境関連予算の増額は見送られ予算的には厳しい状況ですが、人員は1名増員されました。 環境意識を高めるため、廃棄物の分別に対するメリットを全体朝礼にて説明するなど、今年度も小さい効果と見られますが地道な活動を継続していきます。 また、今年度はリスクサーベイ調査を実施し、その対策をとっていくことを決めましたので、その中で若干環境対応が進むものと期待しています。</p>
<p>第20-0003号 株東牧土木</p>	<p>目標としている取組みは日常的になっております。今後も引き続き、環境負荷の低減に努めていきます。</p>
<p>第20-0004号 株ネエチア</p>	<p>今期（平成28年7月～平成29年6月）も、前年度に引き続き間接的に環境負荷を減らす事を目的として本来業務とISO活動を完全に一体化させる活動を行いました。今期、残り一ヶ月目標の達成実現へ向け精進いたします。 また、今期は社内外に設置の自動販売機2台の更新を行い、電気消費量が少ないものへ変更いたしました。</p>
<p>第20-0005号 株青柳商店</p>	<p>環境意識を念頭に置いて、取り組めることは実施するよう努めました。小さなことではありますが、今後できることは取り組んでいこうと心がけていきます。</p>
<p>第20-0006号 株山勝</p>	<p>当社は経費削減の意味合いも含め、使用エネルギーの削減を恒常的に取り組んでいます。 今回も前年同様電気使用量や燃料使用量は「削減」の結果となりました。これは企業努力としての使用しないトラックの削減や使用しない設備の除却などの企業努力と社員の経費削減意識の高まりに起因するものと判断しています。</p>
<p>第20-0007号 株栄和産業</p>	<p>平成28年度は各工場でごーやを育て緑のカーテンを作り夏場の冷房費削減に努めました。それぞれの工場が省エネをテーマに水やり、追肥しながら育て、収穫して食した過程で団結力が高まり予想以上の活動となりました。今年度も環境改善活動に社員全員で取り組んでいきたいと思っております。</p>
<p>第20-0008号 株タズミ</p>	<p>平成28年度も、焼却されていた廃棄物の燃料化を推進し、自治体からの一般廃棄物・産業廃棄物や食品系製造事業所からの産業廃棄物等の燃料化を推進した結果、平成28年度は10,461tを燃料として販売し利用されました。 また、環境負荷低減（地球温暖化防止対策等）の取組としては、最新規格の車両への切り替え、エコドライブやエコ操作は継続的に実施し効果を維持するとともに、工場部門では設備保全や原料の調合の工夫により、生産性を維持、使用した電力や水は、原単位でも効率的に使用することができました。 さらに事務用什器の更新や備品の購入については、環境負荷の少ない製品（グリーン購入品など）の購入の拡大に努めました。</p>
<p>第20-0009号 株デザインルーム</p>	<p>少しずつですが、習慣になってきたと思います。</p>

<p>第22-0001号 株紺野企業</p>	<p>今般行った取組としては、例年どおり敷地内の緑化にゴーヤとサンパチェンスを一緒に植えるグリーンカーテンにより、さらなるCO₂削減を行ったことと新たに花壇を造りました。継続的施設として機械選別施設を重点対象とし、金属くず（スチール缶・アルミ缶）、PETボトル、ガラス瓶等の選別を開始しました。カーボンオフセットも導入し受け入れ廃棄物に対してオフセット（相殺）していくことを採用しております。</p> <p>当事業所では、継続的に行われているエコアクション21の環境活動の中で主に燃料使用量の削減や工場設備の電気使用量の削減並びに排出抑制のための紙の使用量抑制に取り組んでまいりました。燃料使用量に関しては、車両の増車に伴う低公害車、低燃費車の導入を行い、ガソリン使用量の削減に努めてまいりました。工場設備の工場、倉庫の増設に伴い電気使用量を削減するためスマートメーターの導入と第一工場に動力プレス機の入れ替えを行うことで使用電気の削減計画予定。ミスト噴霧器を導入し周囲の気温を低減する取組、使用量の把握とともに削減を継続的に行っています。紙の使用量の排出抑制をするために使用済み用紙の裏紙使用、両面印刷の徹底を継続的に行っています。</p>
<p>第22-0002号 横濱乳業(株)</p>	<p>社内の蛍光灯照明の半数以上がLED化されました。また、社用車の代替でエコカーを導入しております。</p> <p>平成28年度は製造量が増加し電気使用量も増加。主に冷凍機の電力増加が要因となっていますが、燃料使用量は焼却炉の運転削減、台数制御管理のボイラーを増設したことによって、削減できております。</p>
<p>第22-0003号 トピー工業(株)</p>	<p>私たちは、省エネルギー、地球温暖化防止活動、環境負荷の低減、環境に配慮した製品開発を通じて、環境に配慮した事業活動を行ってきております。特に、ムダ・ムラの徹底排除を目的に、設備のエア漏れの削減活動を進めており、顕著な実績をあげることができました。</p>
<p>第24-0004号 株あやせ電気</p>	<p>エコに関しては常に意識していますが、今回の結果報告書を書くにあたり、改めて徹底したいと思えます。</p>
<p>第24-0005号 (有)中電社</p>	<p>省エネソフトによるランニングコスト比較表を提案し、平成28年度の照明器具販売実績は住宅用・施設用ともに100%がLEDでした。</p> <p>ISOを取得されている大口の電力需要家には電力監視モニターの提案・販売を行い、効率の良い業務管理の一助として設備投資を担わせて頂きました。オフィス関連、建設副産物の再利用等は従来通り100%の取組で定着しております。</p> <p>今後も環境負荷低減に向けた提案を積極的に行ってまいります。</p>
<p>第24-0006号 株かなしんオフセット</p>	<p>環境負荷の取組のシステムを平成28年6月に変更し、監査等もすべて社内で行うようになりました。品質向上・環境負荷低減・作業内容の効率化等のための改善活動を大きな柱としております。各部署で改善回数目標を設定し、各自が目標達成に向けて行動しております。</p>
<p>第25-0001号 武田商事(株)</p>	<p>新たな取組目標は追加できなかったが、現在取組中の目標は社内にも周知され、より徹底されてきています。</p> <p>今後も社員全員で環境への配慮を心がけていきたいと思えます。</p>

<p>第25-0002号 秋本食品(株)</p>	<p>当社は食品製造会社のため食の安全を守る国際標準「HACCP」の義務化（平成32年）に向け、さらなる食品の安全・安心の向上に取り組んでおります。従いまして、ISO14001の認証を10年以上継続してまいりましたが、一定の成果並びに従業員個々の意識も環境への配慮が浸透したことから、昨年ISO14001の認証を返上いたしました。社内ISOに切り替え独自のルールで環境負荷の低減に取り組んでおります。</p>
<p>第25-0003号 (株)高座豚手造りハム</p>	<p>従業員一人一人が環境意識を持つことで少しでもエコにつなげることができたと思います。 設備面・事業面などで難しい部分はあるが、これからも環境を意識した取組をしたいと思います。</p>
<p>第25-0004号 (有)パレト・モンパル</p>	<p>箱に入れた壊れやすい品物のため、手さげ袋にいれないと、持ち帰りにくいため、難しいです。</p>
<p>第26-0001号 エムケーチーズ(株)</p>	<p>昨年度に引き続いて事業所では設けた項目（CO2、用水、産業廃棄物）の原単位削減を実施し、目標達成に向けて全従業員が同じベクトルに行動できるようになって来ています。 今回リサイクルの意識付けに紙パック製品の回収ボックスを共有スペースに設置しリサイクルの推進をしてまいります。回収量は少ないですが意識変化もでき始めています。</p>
<p>第26-0003号 （株）細川工務店</p>	<p>事務用品はエコマーク商品を積極的に購入しています。木材は廃材や端材を利用してブックエンドやペン立て等の小物を作成したり、チップにしています。</p>
<p>第26-0004号 大平食品加工(株)</p>	<p>取組箇所が大幅に増え、全従業員強い意識を持って取り組んでおります。今後も継続し、さらなる環境負荷の低減に取り組む所存です。</p>
<p>第26-0006号 明電ケミカル(株)相模事業所</p>	<p>事業に用いる電力を、LPG発電による電力メーカーに変更しました。その結果、従来比70%の排出CO2にすることができました。</p>
<p>第26-0007号 (株)アサヒコ</p>	<p>目標を掲げる事で個々の意識向上及び積極的に取り組むことが出来たと思います。 引き続き継続し、取組目標の達成に向け環境にやさしい企業へと努めていきます。</p>
<p>第26-0008号 東ソー(株)東京研究センター</p>	<p>引き続き、照明器具の段階的LED化、省エネ型空調設備の導入、廃棄物の分別回収などの環境負荷低減への取り組みを継続しております。また、社内申請業務や連絡等において電子化を進めており、紙媒体の削減を図っております。 今後も、資源の再利用や分別収集の徹底による廃棄物低減への取組、省エネ対策、省エネ型設備やシステムの導入などにより、環境負荷低減により一層努力してまいります。</p>
<p>第26-0009号 日本蛍光化学(株)</p>	<p>従来より取り組んでいた内容でしたが、改めて環境への配慮を確認することができました。 今後は新たな目標を追加できるよう努めてまいります。</p>
<p>第26-0010号 東急リネンサプライ(株)相模工場</p>	<p>従業員全員が常に環境に意識して取り組むことができました。取り組んだ内容は少なかったが、よくできたと思います。外国人が多く、習慣や感覚が違うので今後も全員で同じ意識付けをしながら取り組んでいこうと思います。</p>

種別内容	目標内容	取組内容	内容番号	第18-0001	第19-0003号	第19-0005号	第19-0007号	第19-0008号	第20-0001号	第20-0002号	第20-0003号	第20-0004号	第20-0005号	第20-0006号	第20-0007号	第20-0008号	第20-0009号	第22-0001号	第22-0002号	第24-0001号	第24-0004号	第24-0005号	第24-0006号	第25-0001号	第25-0002号	第25-0003号	第25-0004号	第26-0001号	第26-0003号	第26-0004号	第26-0006号	第26-0007号	第26-0008号	第26-0009号	第26-0010号				
				綾瀬市商工会	㈱ワイケー電子	㈱横浜製作所	㈱加藤工務店	㈱ラテン大和	㈱横浜バス	㈱メイコー	(株)東教士木	㈱ネエチア	㈱青柳商店	㈱山勝	㈱栄和産業	㈱タズミ	㈱デザインルーム	㈱組野企業	㈱浜乳業㈱	トビー工業㈱ 綾瀬製造所	㈱あやせ電気	㈱中電社	㈱かなしんオプセット	武田商事㈱	秋本食品㈱	㈱高尾製手造りハム	㈱パレド・モンパル	エムケーチーフス㈱	㈱細川工務店	大平食品加工㈱	明電ケミカル㈱相模原事業所	㈱アサヒコ	東ソー㈱東京研究センター	日本堂光化学㈱	東急リネンアップライ㈱相模工場				
廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理①	紙の使用量を削減する。① 廃棄物の発生を抑える取組を実施する。②	両面印刷、両面コピーを徹底する。	010101	○			◎		◎		◎	◎	◎	◎				◎	○	◎		○	◎	◎	○														
		使用済み用紙の裏紙や使用済み封筒を再利用する。	010102							◎		◎	○																										
		電子メディアの利用等によりオフィス等のペーパーレス化を推進する。	010103				○	○																															
		使い捨て製品（紙コップ、紙皿、使い捨て容器入りの弁当等）の使用や購入を抑制する。	010201																																				
		リターナブル容器（ビール瓶、一升瓶等）に入った製品を優先的に購入・使用する。	010202																																				
		再使用又はリサイクルしやすい製品を優先的に購入し、使用する。	010203	◎																																			
		コピー機、パソコン、プリンタ等はリサイクルしやすい素材を使用しているものを採用する。	010204																																				
		詰め替え可能な製品を利用したり備品の修理などにより、製品等の長寿命使用を進める。	010205																																				
		包装・梱包（段ボール、魚箱等）の削減、再使用を進める。	010206		◎																																		
		製造段階で環境に影響を及ぼさない原材料を使用したり使用済み製品の回収・再利用を徹底するなどにより有害廃棄物の削減を進める。	010207																																				
オフィス等におけるリサイクル化を促進する。③	紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等について、分別回収ボックスを適所に設置するなどにより、ごみの分別を徹底する。	コピー機、プリンタ等のトナーカートリッジの回収とリサイクルを進める。	010301	◎		◎	◎																																
		食べ残しや食品の残り等は可能な限りコンポスト化（堆肥化）して利用する。	010302	◎		◎																																	
		包装・梱包等のリサイクル化を推進する。	010303																																				
		紙パック、食品トレイ、アルミ缶、スチール缶、ペットボトル等の店頭回収・リサイクルを行う。	010304																																				
出荷・販売等に際しての梱包等に配慮する。④	簡易包装の推進、多重包装の見直し、量り売り、ばら売りの推進等により、包装紙、紙、容器、蓋、包装、食品トレイ、ラップ等を削減する。	詰め替え式の容器・製品の販売促進に取り組む。	010401																																				
		リターナブル容器入りの製品の販売促進に取り組む。	010402																																				
生産工程におけるリサイクルに取り組み。⑤	紙パック、食品トレイ、アルミ缶、スチール缶、ペットボトル等の店頭回収・リサイクルを行う。	紙パック、食品トレイ、アルミ缶、スチール缶、ペットボトル等の店頭回収・リサイクルを行う。	010403																																				
		製造工程から発生する金属屑、紙屑、廃液などの回収・再利用のための設備を設置し、活用する。	010404																																				
② 資源削減等④	再生紙の使用を推進する。① 製品の各段階での環境に配慮した製品の購入、使用を推進する。② その他環境に配慮した物品等の購入、使用を推進する。③	コピー用紙、コンピューター用紙、伝票・事務用箋等、印刷物・パンフレット、トイレットペーパー、名刺、その他の紙について、再生紙や環境に配慮した製品への転換を進める。	020101		◎		○	◎																															
		用紙の使用に当たっては、紙の質や色を考慮して使用目標・基準を定め、使用状況を確認しながら使用する。	020102																																				
		エコマーク商品を優先的に購入する。	020201																																				
		再生材料から作られた製品を優先的に購入し、使用する。	020202																																				
		回収材、未利用資源等を利用した製品を積極的に購入し、使用する。	020203																																				
		木材の調達に当たり、伐採跡地の緑化・植林・環境修復が適切に行われていることと確認し、より緑化の進捗が期待できるものを選択する。	020204																																				
		その他、無害な製品（衣類等）、水溶性剤等の環境への負荷の少ない製品を優先的に購入、使用する。	020205																																				
		最新の排ガス規制や騒音規制に適合した車への代替を進める。	030101																																				
		自動車等の購入・選択に当たって環境に配慮する。②	自動車等の購入・選択に当たって環境に配慮する。	資材搬入口において、騒音・粉塵対策、渋滞防止等の環境対策を行う。	030201																																		
				車の排出ガスに含まれる有害物質等の量を削減する。③	030301																																		
省資源等④	雨水等を再利用し環境に配慮する。① 節水等を行い環境に配慮する。②	雨水の貯留タンクや雨水利用施設等を設置し、雨水利用を積極的に行う。	040101																																				
		汚排水の再利用（中水利用）を行う。	040102																																				
		節水型の家電製品、水洗トイレ等を積極的に購入する。	040201				◎																																
		トイレに「水流し音発生器」をつけるなどにより、トイレ用水を節約する。	040202																																				
⑤ 建築物の建築、解体、開発事業に当たっての環境配慮	新規事業を始める際の環境影響評価・環境配慮を行う。① 環境整備と周辺の自然環境の保全に配慮する。② 環境負荷の少ない建築材の使用等を推進する。③ 建築物の環境への影響を予防するための対策を講じる。④ 施設閉鎖、建築物の解体等の際に環境に配慮する。	新規事業を始める際、企画・計画・設計、建設、運用、改修・解体のそれぞれの段階において環境影響評価を行い、これに基づいて環境保全の取組を進める。	050101																																				
		事業実施前に進められる環境影響評価の結果が妥当であったかどうかのフォローアップを事業中及び事業後に行う。	050102																																				
		発注者及び設計者に対し、建設副産物のリサイクル、合板型枠の使用合理化等、環境保全の取組を行う。	050103																																				
		敷地内、壁面、屋上等の緑化を実施する。	050201					○																															
		地域の自然環境との調和に配慮し、生態系や景観の保全に取り組む。	050202		◎																																		
		環境を改善する代替措置として環境修復（リメディエーション）を計画・設計に取り込む。	050203																																				
		雨水を地下浸透させる設備（浸透弁等）の導入や屋外駐車場等で雨水が地下浸透できるための工事を行う。	050204					◎																															
		建築物の建築・改築に当たり、環境負荷の少ない建築材の使用、建築材の使用合理化に取り組む。	050301					○																															
		工事中の樹木の保護を行う。	050302																																				
		木材、コンクリート塊、汚泥、残土等の建設副産物の削減、再利用、分別、リサイクルに取り組む。	050303					○																															
物質汚染対策等⑥	大気汚染物質排出量を削減する。① 水質汚染物質排出量を削減する。② 悪臭、騒音、振動等の防止対策を進める。③ 化学物質の管理を徹底する。④	建築物の老朽化や運用の診断を行い、改善や環境保全設備の見直し等の取組を行う。	050401																																				
		建築物の耐久性の向上に取り組む。	050402																																				
		施設閉鎖時に、環境影響評価を行う。	050601																																				
		現状から用途転換をする等の計画プロジェクトの前に環境影響評価を行う。	050602																																				
		大気汚染の少ないプロセス・機器（低NOx燃焼機器など）を採用する。	060101																																				
		大気汚染について、法令による基準より厳しい自主管理基準を設定し、その達成に努める。	060102																																				
		ばい煙等の測定・監視を定期的に行う。	060103																																				
		事故や災害の際の汚染防止対策の準備を定め、必要な訓練等を行う。	060104																																				

